

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の成果目標の点検評価表

基本目標 V	自己を磨き社会を支える豊かな学びの振興	
施策 3	生涯学習の成果の活用	
目標項目	L-20 地域学校協働活動への参加者数	
実績値 (令和元年度)	令和6年度末数値	目標値 (令和7年度)
73,632人	56,410人	75,000人
令和6年度までの取り組み		
全ての小・中学校に学校応援団コーディネーターを配置し、多くの保護者や地域住民等がボランティアとして学習支援、部活動指導、環境整備、登下校の安全指導、学校との合同行事等、多岐に渡って活動し、学校支援を行った。		
↓		
目標値に対する達成状況		
目標値の達成には至らなかったが、保護者や地域住民等の協力により、参加者数、学校支援活動日数、ともに昨年度を上回ることができた。		
↓		
今後の取り組み予定		
今後も保護者や地域住民などの多様な人材が活躍できる仕組みづくりを推進し、地域学校協働活動がより活発になるよう支援していく。		
所管課		社会教育課

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の成果目標の点検評価表

基本目標 VI	元気な人づくりと競技力向上を支えるスポーツの振興	
施策 1	市民のスポーツ活動の促進	
目標項目	L-21 週1回以上スポーツを実施する市民の割合	
実績値 (令和元年度)	令和6年度末数値	目標値 (令和7年度)
32.4%	33.90%	50.0%
令和6年度までの取り組み 誰もが気軽にスポーツを楽しむことができるスポーツ教室・行事の充実を図り、市民が継続してスポーツに親しむことができるよう、スポーツの実施率向上に向けて取り組んできた。		
目標値に対する達成状況 令和6年度に「第4次狭山市教育振興基本計画」策定の基礎資料としてアンケート調査を実施した。調査結果から、「週に1～2日程度」スポーツをする割合が20.1%、「週に3日以上」が13.8%であり、週1回以上スポーツを実施する市民の割合は33.9%で目標値には至らなかった。それに対し、「まったくしなかった」と回答した市民の割合は30.9%であった。		
今後の取り組み予定 今後も、各種スポーツ教室・行事の充実や継続的にスポーツを実施できる環境の整備を図るとともに、日常生活の中で手軽に行えるスポーツの紹介などSNS等を活用した情報を発信し、スポーツ実施率の一層の向上を図っていく。 また、「まったくしなかった」の層にも興味を持ってもらえるような教室や、参加しやすい環境の整備について検討を進め、導入を図っていく。		
所管課		スポーツ振興課

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の成果目標の点検評価表

基本目標 VI	元気な人づくりと競技力向上を支えるスポーツの振興	
施策 1	市民のスポーツ活動の促進	
目標項目	L-22 スポーツ教室・行事への参加者数	
実績値 (令和元年度)	令和6年度末数値	目標値 (令和7年度)
19,874人	12,348人	20,700人
令和6年度までの取り組み		
各種スポーツ教室・行事については、各教室等の終了時のアンケートなどを通じて、市民のニーズを把握し、気軽にできるニュースポーツの普及や内容の充実を図ってきた。		
目標値に対する達成状況		
スポーツ教室は、18種目18教室を開催し、延べ753人の参加があり、行事については3事業を開催し、153人の参加を得た。共催事業では、市民ゴルフ大会196人、クロスカントリー大会参加者862人、トススペースボール大会202人、ラケットテニス親睦大会96人の参加があった。また、市民総合体育館及び地域スポーツ施設を管理運営する指定管理者による自主事業に延べ10,086人の参加があった。 目標値には達していないが、今後も教室参加者のアンケートによりスポーツ種目や開催時期、時間を市民のニーズを把握し、達成に向け検討していく。ニュースポーツの普及については、公民館と連携したボッチャ講習会等を継続して実施していく。		
今後の取り組み予定		
ライフスタイルや市民のニーズに応えられる教室内容の充実を図り、誰もが気軽に楽しめるスポーツ教室の普及や行事の実施に取り組んでいく。		
所管課		スポーツ振興課

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の成果目標の点検評価表

基本目標 VI	元気な人づくりと競技力向上を支えるスポーツの振興	
施策 2	競技スポーツの振興	
目標項目	L-23 アスリートとのスポーツイベントや講演会等の参加者数	
実績値 (令和元年度)	令和6年度末数値	目標値 (令和7年度)
397人	2,224人	800人
令和6年度までの取り組み		
プロスポーツ団体との連携協定事業や、市内外との包括的連携協定による教室開催など、競技スポーツの振興と青少年のスポーツ活動の普及に取り組んできた。		
目標値に対する達成状況		
プロスポーツ団体との連携協定事業として、埼玉西武ライオンズによる「レオ・ライナと楽しく遊ぼう」、「ベースボールチャレンジ」、「ティーチングセミナー」、ちふれASエルフェン埼玉による「サッカー教室」、狭山セコムラガッツによる「狭山セコムラガッツ応援バスツアー」を開催し、735人の参加があった。 パラスポーツ体験として「あすチャレ！スクール」を市内小中学校で実施し、968人の参加があった。 トップアスリートとのスポーツイベントとして、「親子体操教室」、「ボールゲームフェスタ」、さいたまブロンコスによる「バスケットボールクリニック」を開催し、521人の参加があった。		
今後の取り組み予定		
今後も連携協定事業やスポーツイベント、講演会等を開催し、競技スポーツに接する機会を提供していく。		
所管課		スポーツ振興課

第3次狭山市教育振興基本計画に掲げた施策の成果目標の点検評価表

基本目標 VI	元気な人づくりと競技力向上を支えるスポーツの振興	
施策 3	スポーツ施設の充実	
目標項目	L-24 公共スポーツ施設の利用者数	
実績値 (令和元年度)	令和6年度末数値	目標値 (令和7年度)
879,733人	984,070人	880,000人
令和6年度までの取り組み		
スポーツ協会をはじめとするスポーツ・レクリエーション団体の活動、さらには、各施設での自主事業の実施を通じて、スポーツ施設の利用の促進を図ってきた。		
目標値に対する達成状況		
公共スポーツ施設利用者数（屋外運動施設、市民総合体育館、地域スポーツ施設、小・中学校開放体育館、入曽運動広場）は、984,070人で、昨年度に比べ28,479人増加した。 【参考】市民総合体育館：264,662人 地域スポーツ施設：57,977人 狭山台体育館プール：3,818人 小・中学校開放体育館：119,724人 武道館：27,513人 入曽運動広場：37,728人 屋外施設（みどり公園課）有料：240,835人 無料：231,813人		
今後の取り組み予定		
各種スポーツ教室・行事及びスポーツ施設に関する情報提供の充実と、利用者が継続して利用したいと思う魅力ある施設への環境整備の促進を図っていく。		
所管課		スポーツ振興課